

未来にはばたく 白石市

～市制施行50周年記念特集～

昭和29年4月1日に白石町・越河村・斎川村・大平村・大鷹沢村・白川村・福岡村が合併して市制を施行し、続いて昭和32年には小原村も加わって、仙南地域の中核都市として発展してきた白石市。

今月号では、市制50年のあゆみをふり返り、4月1日に実施される記念式典をはじめ、昨年から実施している記念事業についてお知らせするとともに、白石の未来を担う子どもたちのインタビューなどを紹介します。

公立刈田総合病院のリハビリガーデンからのぞむ白石市中心部

白石市の誕生

白石市は、昭和29年4月1日、白石町・越河村・斎川村・大平村・大鷹沢村・白川村・福岡村が合併し、宮城県内で6番目、県南では最初の市として誕生しました。当時は「昭和の大合併」と呼ばれる、市町村合併が積極的に推進された時期でした。そのため、白石市と同じ昭和29年4月1日に誕生した市は、岩手県の花巻市、水沢市などをはじめ、全国で45市を数えます。ちなみに、白石子守歌の作詞で白石市とも関わりのある作家・林真理子さんもちょうどこの日のお生まれです。



白石市消防団の各分団旗は旧町村時代のものがそのまま引き継がれています。(消防出初め式)



白石市制施行調印式(昭和29年4月1日)

白石市の市域と人口・世帯数の推移

白石町	越河村	斎川村	大平村	大鷹沢村	白川村	福岡村	小原村	明治22年4月 (1889年)
-----	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	--------------------

18,885	3,651	2,309	2,266	3,362	3,145	8,636	3,650	人口(人)
3,578	619	350	334	482	502	1,408	587	世帯
白石市	人口 42,254人	世帯数 7,273世帯	小原村	昭和29年4月 (1954年)				

白石市	人口 46,670人	世帯数 8,179世帯	昭和32年3月 (1957年)
-----	------------	-------------	--------------------

白石市	人口 40,361人	世帯数 13,495世帯	平成16年1月 (2004年)					
19,207	1,985	1,411	2,968	2,664	2,027	8,839	1,260	人口(人)
6,998	561	395	891	754	578	2,883	435	世帯



白石市消防団階子乗隊の皆さん(消防出初め式)



白石市章・白石市民歌

市制施行に当たり、河北新報社と共催で一般公募して制定されました。黒釣り鐘は白石城主片倉家の軍旗を表し、「その名を天下に鳴り響かせよ」との意味を持っていきます。外円は、合併時の町村が丸く収まり、白円は白石市の「白」を表して、車の車輪のように限らない前進を続け、白石市の名を広く響き渡らせよとの意味を象徴したものです。

作詞 松野清四郎(白石市)

作曲 海鋒 義美

一、友よ 呼べよ 青空高く
真白き 蔵王に わく雲を
いのちあふるる わが故郷
躍る この意気 こだまして
希望の峰に わく雲を
いざ立たん 白石市民
白石市民 ああ我ら

二、友よ 呼べよ みどりの土に
薫りも 新たに 咲く花を
ひかり みなぎる わが故郷
興る 文化と 産業の
栄えとなりて 咲く花を
いざ行かん 白石市民
白石市民 ああ我ら
白石市民歌は、現在も小学校体育祭などで歌われています。

市民憲章、市の木・花・鳥

昭和53年11月、市制施行25周年を記念して制定されました。市の木・花・鳥は、郷土の自然の中で生き続け、最も親しまれていると、いうことで制定されました。



市の木「ブナ」



市の鳥「ウグイス」



市の花「ヤマブキ」

白石市民憲章

雄大な蔵王を仰ぐ
わたたくしたち白石市民は
自然を愛し
住みよい白石をつくります。
文化を高め 美しい心を
そだてます。
健康であたたい
家庭をきずきます。
仕事にはげみ 豊かな郷土を
つくります。
きまりを守り 明るい社会を
きずきます。

白石市50年の あゆみ

白石市50年の歴史を
写真で振り返ります

昭和30年代



白石駅前通り(昭和28年ごろ)



耕作馬による麦まき(昭和29年ごろ)



第1回全日本こけしコンクール(昭和34年4月)

昭和40年代



白石駅に特急ひばり号が停車(昭和40年10月)



南蔵王白石スキー場(昭和48年ごろ)



東北自動車道白石-仙台南間開通(昭和48年11月)